

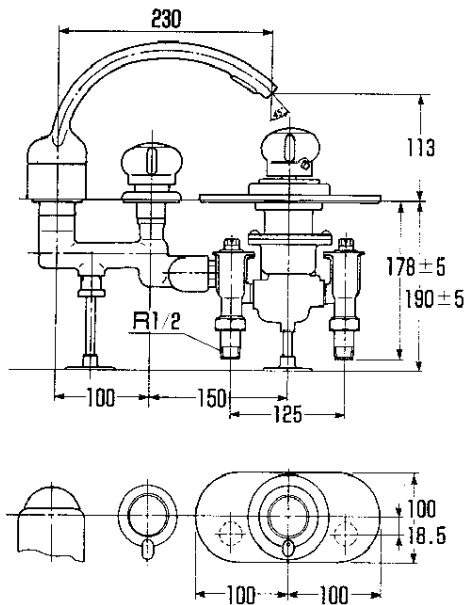
# f SERIES サーモスタット混合栓取付説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

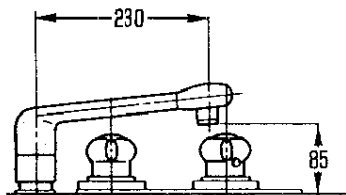
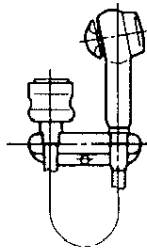
## 完成図

TB290L  
TB290R

図はRタイプです。

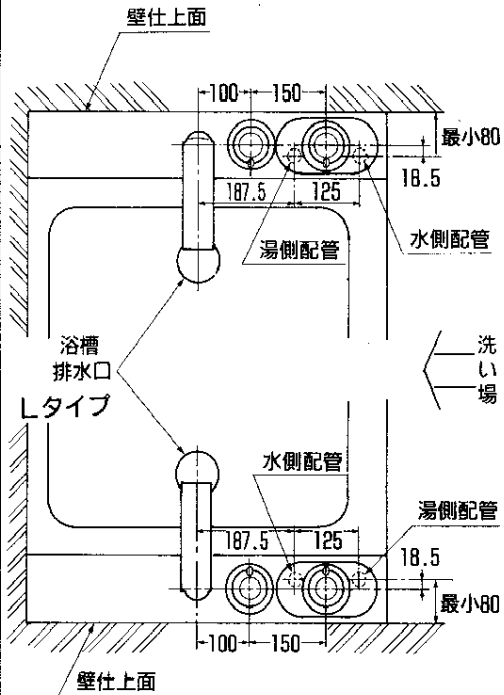


TB290DL  
TB290DR



製品番号にRがついているものはRタイプ、LがついているものはLタイプです。

Rタイプ



洗い場から見て右側に設置するものをRタイプ、左側に設置するものをLタイプとしていますので、施行前によく確認してください。

## 使用条件

### 1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組み合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧……(下記参照)  
最高水圧………6.0 kgf/cm<sup>2</sup>

器具入口部における最低必要水圧(kgf/cm<sup>2</sup>)

給湯機タイプと号数		TB290DL/R	TB290L/R
従来タイプ	8号	—	—
	10号	A+1.6	—
	12号	A+2.1	—
比例制御タイプ	10号	1.1	—
	16号	1.0	0.7
	20号		
	16号	0.8	0.7
	20号		
	24号	0.7	0.5
アクティブ制御方式			
32号	0.7	0.5	
リモコンタイプ	16号	0.9	0.5
	24号	0.9	0.5

注) TOTOカスタムシリーズでは、給湯機の温度を60°Cにした場合、表中の数値より0.2kgf/cm<sup>2</sup>多く必要になります。  
 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。  
 (比例制御タイプにはこの数値が含まれていません。)

〈設定条件〉

- 止水栓は全開 ● 給湯配管長さ：5m
- 給湯機温度調節は最高温に設定
- 吐水温度：42°C

a) 従来タイプの場合

- 給湯機が着火する下限の圧力とする。
- 水温の高い(25°C)夏季に着火させることを想定

b) 比例制御タイプの場合

- 水温の低い(5°C)冬季に約8 l/minの吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。

(2)貯湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.5kgf/cm<sup>2</sup>  
 最高圧力…6.0kgf/cm<sup>2</sup>

給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。

給水圧力が6.0kgf/cm<sup>2</sup>を超える場合、市販の減圧弁で2.0kgf/cm<sup>2</sup>程度に減圧してください。

2. 給湯温度は使用する温度より10°C以上高くしてください。

ただし、約70°C以上の温水は出ないようにしています。

3. 給湯に蒸気を使用しないでください。

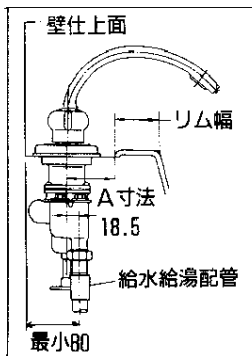
4. 湯・水を逆配管しないでください。

なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

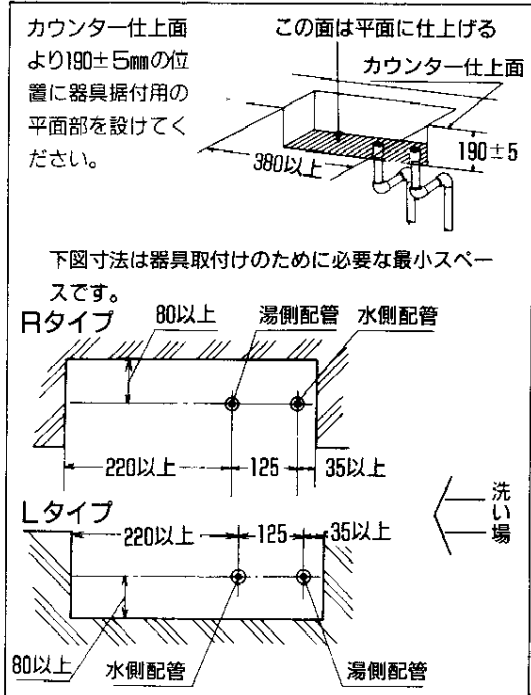
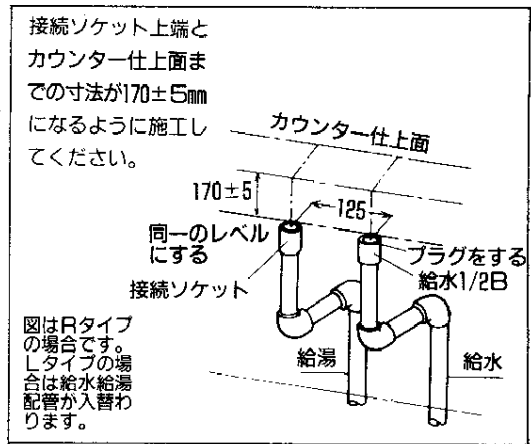
## 下 準 備

1. 取付位置の決定

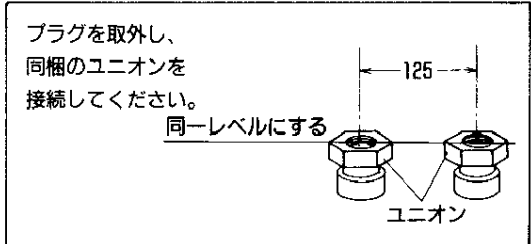
浴槽種類	浴槽リム幅	浴槽リムとのすき間 A寸法
FBS 1200 FBS 1300他	70	60~130
P660 P661R/L他	90	60~110
P670 P671R/L他	100	60~100
P680 P681R/L他	110	60~90



2. 給水・給湯配管



3. ユニオンの接続



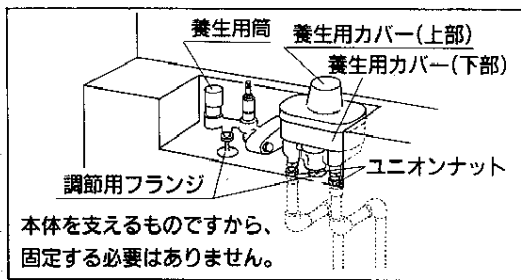
## 器具の取付け

1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみや砂などを完全に洗い流してください。

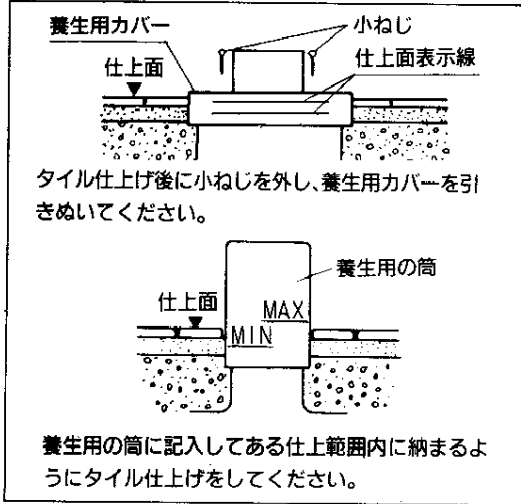
2. 器具の接続

調節用フランジ(2ヶ所)でカウンター仕上面とのレベル調整したのちユニオンナットを締付けてください。



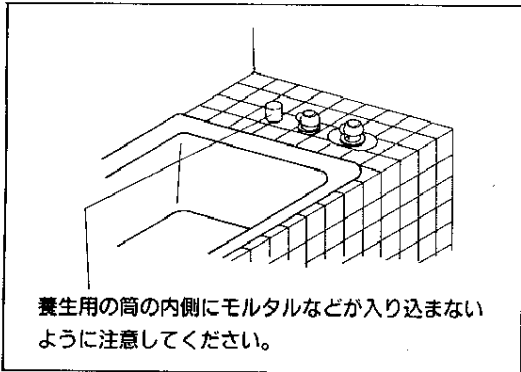
3. 埋込配管部に通水して器具接続部分からの漏水の有無を点検してください。

4. タイル仕上げ

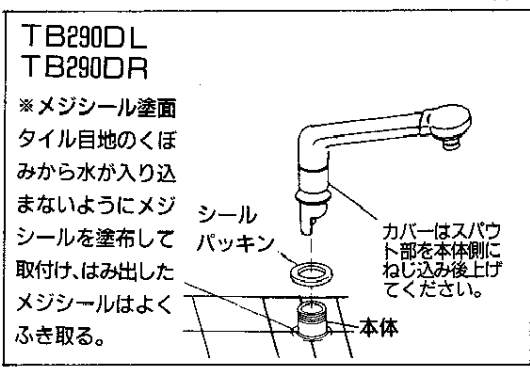
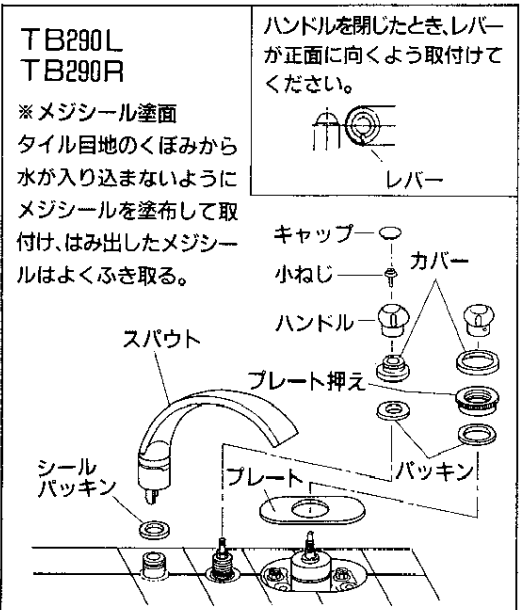


タイル仕上げ後に小ねじを外し、養生用カバーを引きぬいてください。

養生用の筒に記入してある仕上範囲内に納まるようにタイル仕上げをしてください。



5. ハンドル・スパウト・カバーの取付け



温度調節

工場で温度調節をしていますが取付現場の圧力状況などによって、目盛通りの吐水温度にならない場合があります。その場合には、「ご愛用のしおり」の温度調節の方法（6ページ）をご参照になり温度調節を行ってください。

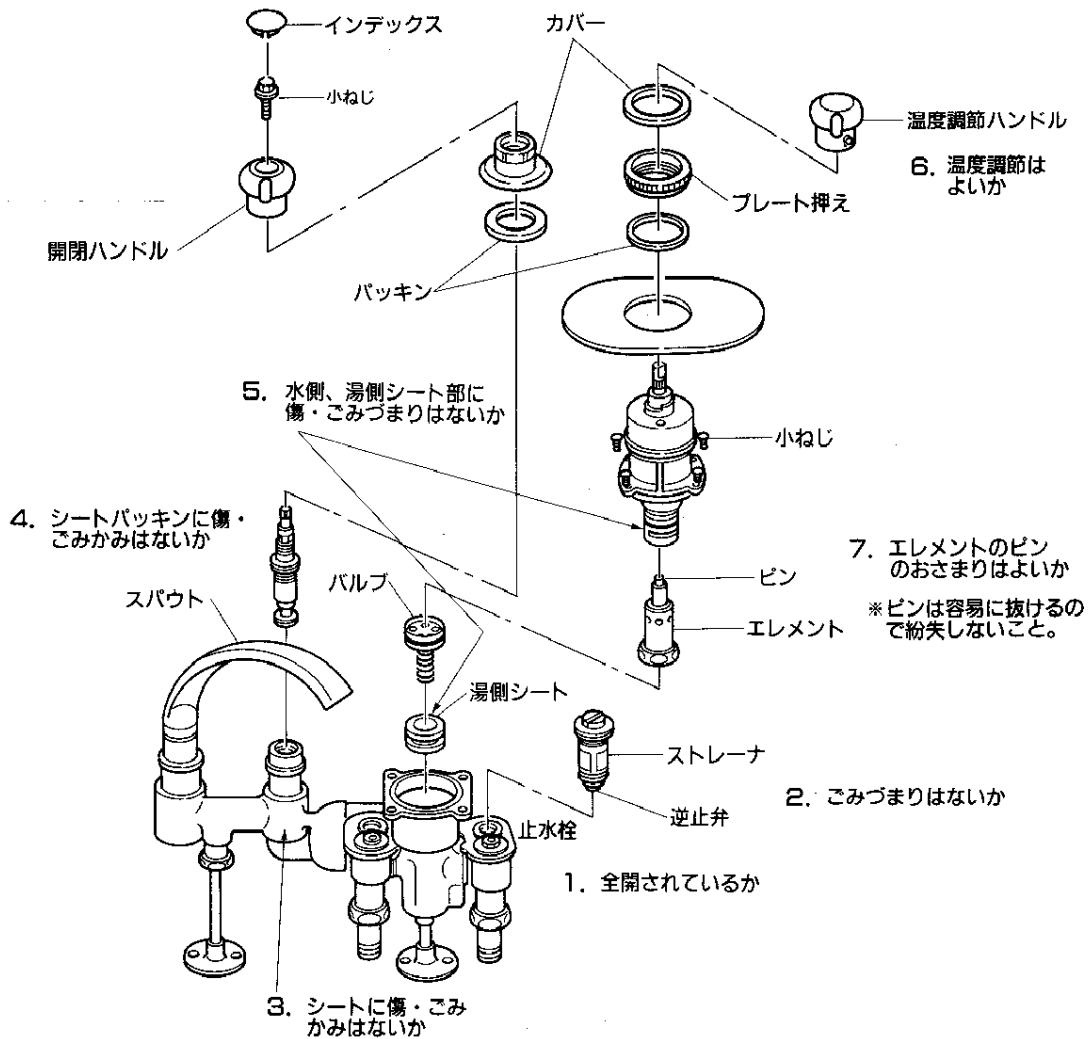
ストレーナの掃除  
お手入れ

ストレーナがつまると流量が少なくなったり水又は熱湯しかでなくなるなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。「ご愛用のしおり」の11、12、13ページを参照してお客様にストレーナの掃除及びお手入れの方法をご指導ください。

# 分解と点検

取付後万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

故障とその点検箇所	
故障	点検項目
流量が少ない	1・2
高温しか出ない	1・2・5・6・7
低温しか出ない	1・2・5・6
目盛と湯の温度がちがう	1・2・5・6・7
水が止まらない	3・4



\*図はTB290Rを分解した場合を示しています。